

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



令和3年度に

21世紀の森と広場に

遊び空間が誕生します

子どもたちが自然への興味や関心を育み、公園の新たな魅力となるような大型遊具を含む「新たな遊び空間」を整備します。

名称は「あそびのすみか」

名称は地域のシンボルとなり愛着を持ってもらうことを願い、市立小学校に在籍する児童から公募し「あそびのすみか」に決定しました。

遊具の整備費用の一部に充てる寄附を募っています

遊具の整備費用の一部に、ガバメントクラウドファンディングによりいただいた寄附を充当します。寄附の募集期間は、令和2年9月15日から12月13日まで(予定)です。

ガバメントクラウドファンディングとは ふるさと納税制度において「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、共感した方から寄附を募る仕組みです。



名称の提案者
和名ヶ谷小学校5年 久野 由璃菜さん

●問い合わせ先 【整備について】21世紀の森と広場管理事務所 TEL 047(345)8900
【寄附について】総務課 TEL 047(366)7305

市議会トピックス

令和2年度松戸市一般会計 補正予算(第6~8回)を可決

補正額	第6回	4億8,874万8千円
	第7回	34億6,694万9千円
	第8回	8億3,074万6千円

新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み

8月臨時会・9月定例会においても、引き続き、換気、消毒の徹底等とともに、下記のとおり感染拡大防止策を図りました。

- 本会議では採決時を除き、議員は定足数に配慮し半分ずつ交代で出席し、執行部の出席者数にも配慮をお願いしました。
- 一般質問は発言時間を通常60分から25分に短縮し、不急の質問は自粛することとしました。
- 議案質疑は質疑時間を通常30分から10分に短縮し、決算討論は通常割り当てられた時間の83%に短縮しました。
- 9月定例会は、会期日程を当初予定していた29日間から28日間に短縮しました。

令和2年9月定例会を9月1日から28日まで開催しました。

今定例会では、初日に市長から提出された教育委員会委員の任命議案1件、人権擁護委員候補者の推薦議案3件それぞれに同意しました。

このほか2年度補正予算を総務財務常任委員会で審査した後、本会議において採決しました。

また市長から提出された元年度決算の認定議案10件、補正予算を含む一般議案9件、市民の方等から提出された請願4件および陳情2件をそれぞれの委員会において審査しました。

最終日にはこれらの案件のほかに、議員提出議案12件を上程し、採決しました。

なお33人の議員が市政に関する一般質問を行いました。(2面に審議結果を掲載)

8月臨時会

令和2年8月臨時会を8月3日に開催しました。

今臨時会では、市長から提出された2年度補正予算を、総務財務常任委員会で審査した後、本会議において採決しました。(2面に審議結果を掲載)

9月定例会

意見書7件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書
- 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書
- 防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書
- 女性差別撤廃条約選択議定書の批准に向け、真剣に検討を進めるよう求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 国における2021年度教育予算拡充に関する意見書

人事案件

教育委員会委員の任命および人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。(敬称略)

- 教育委員会委員
山形照恵
- 人権擁護委員候補者
高橋むつき
河西光江
関俊彦

声の議会だより

松戸朗読奉仕会の協力を得て視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物を提供しています。

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター
(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111

マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

8月臨時会・9月定例会 審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
8月臨時会					8月臨時会				
市長提出議案					市長提出議案				
第25号	令和2年度松戸市一般会計補正予算(第6回)	総務財務	可決	多数意見	第36号	教育委員会委員の任命(山形照恵氏)	—	同意	全会一致
9月定例会					9月定例会				
認定					請願				
第1号	令和元年度松戸市一般会計歳入歳出決算	決算審査特別委員会	認定	多数意見	第1号	ゆきとどいた教育を推進するために教育施設の整備をもとめる請願	教育環境	不採択	多数意見
第2号	令和元年度松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算		認定	多数意見	第2号	ゆきとどいた教育を推進するために市費負担事故対策教職員をもとめる請願	教育環境	不採択	多数意見
第3号	令和元年度松戸市松戸競輪特別会計歳入歳出決算		認定	多数意見	第3号	ゆきとどいた教育を推進するために「給食費の無償化」に向け食材の一部補助をもとめる請願	教育環境	不採択	多数意見
第4号	令和元年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算		認定	全会一致	第4号	「国の責任で安心・安全な少人数学級をすみやかに実現することをもとめる意見書」を採択することを求める請願	教育環境	不採択	多数意見
第5号	令和元年度松戸市駐車場事業特別会計歳入歳出決算		認定	全会一致	陳情				
第6号	令和元年度松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算		認定	多数意見	第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情	教育環境	採択	全会一致
第7号	令和元年度松戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		認定	多数意見	第2号	「国における2021年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情	教育環境	採択	全会一致
第8号	令和元年度松戸市水道事業決算		認定	全会一致	議員提出議案				
第9号	令和元年度松戸市病院事業決算		認定	全会一致	第5号	被災者生活再建支援法の改正を求める意見書	—	否決	多数意見
第10号	令和元年度松戸市下水道事業決算		認定	全会一致	第6号	PCR検査等の拡充を求める意見書	—	否決	多数意見
市長提出議案					第7号	消費税率を当面5%に引き下げをを求める意見書	—	否決	多数意見
第26号	令和2年度松戸市一般会計補正予算(第7回)	総務財務	可決	多数意見	第8号	気候非常事態宣言に関する決議	—	否決	多数意見
第27号	令和2年度松戸市一般会計補正予算(第8回)	総務財務	可決	多数意見	第9号	核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	—	否決	多数意見
第28号	令和2年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第10号	コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書	—	可決	多数意見
第29号	令和2年度松戸市駐車場事業特別会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	全会一致	第11号	地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書	—	可決	多数意見
第30号	令和2年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第1回)	健康福祉	可決	多数意見	第12号	防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書	—	可決	全会一致
第31号	令和2年度松戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	健康福祉	可決	多数意見	第13号	女性差別撤廃条約選択議定書の批准に向け、真剣に検討を進めるよう求める意見書	—	可決	全会一致
第32号	令和2年度松戸市病院事業会計補正予算(第1回)	健康福祉	可決	多数意見	第14号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	—	可決	全会一致
第33号	松戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見	第15号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	—	可決	全会一致
第34号	契約の締結((仮称)東松戸複合施設建設工事)	総務財務	同意	全会一致	第16号	国における2021年度教育予算拡充に関する意見書	—	可決	全会一致
第35号	契約の締結(松戸市宮横須賀住宅外壁改修その他工事)	建設経済	同意	全会一致					

委員会の審査から

8月3日・9月2日・10日・11日・14日に各常任委員会を開催し、提出された議案について審査しました。
 ここではその審査の中での主な質疑・答弁(要点)を掲載します。
 なお新型コロナウイルス感染症に関わる補正予算を早期に議決するとともに、市をあげて感染の再拡大等に備えるため、常任委員会の日程を当初の予定から変更して開催しました。

総務財務常任委員会

議案第26号 令和2年度松戸市一般会計補正予算(第7回)

問 総合案内に導入されるAIの内容を伺う。

答 本市の制度や手続きに関する質問や問い合わせについて、人工知能による自動会話プログラムで回答するシステムである総合案内AIチャットボットを市ホームページ内に導入する。なお機能として、妊娠、出産、子育て等34分野のカテゴリから1500件以上の質問等に対応可能となることを想定している。またLINEでの利用等も検討しており、窓口問い合わせ

せの減少によるソーシャルディスタンス確保および行政事務のデジタル化を進め市民サービスの向上を図るシステムを構築していく。

議案第34号 契約の締結について((仮称)東松戸複合施設建設工事)

問 トイレの仕様についてコロナ禍対策や環境に配慮した点を伺う。

答 トイレ入り口の扉は設置せず、電気は人感センサーを設置し、手洗いを自動水栓にする。また環境への配慮としてLED照明や高効率の空調機器を採用する他、太陽光発電設備により発電した電気を当該施設の電力の一部として自家消費する。

健康福祉常任委員会

議案第30号 令和2年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第1回)

問 元気応援くらぶ活動用タブレットの購入費補助について、タブレットの具体的な活用方法を伺う。

答 自宅にいなながらタブレット端末等を使いインターネット上で交流を行うことで、新型コロナウイルスの感染リスクがない状況で活動ができるようにするものである。市はそのためにオンラインサロンの講習会の実施を予定しており、市の講習等を受け意欲の高まった元気応援くらぶがタブレット等の端末を購入する

議案第32号 令和2年度松戸市病院事業会計補正予算(第1回)

問 シャトルバスを1台増車した時の運行体制について伺う。

答 シャトルバスの利用が一番多い時間帯は八柱駅発で午前8時〜9時台、市立総合医療センター発では外来診療が終了する昼前後であり、こうした一番混み合う時間帯はできるだけ運行ダイヤの拡充を図っていく。また現在、終日12本の運行をしているが、倍の24本の運行を予定し、利用者の乗車機会を増やし利便性の向上に努めていく。

教育環境常任委員会

請願第2号 ゆきとどいた教育を推進するために市費負担事故対策教職員をよめる請願

千葉県の事故対策教職員の派遣が遅れ、未配置が常態化しているため、市費負担事故対策教職員が必

本市では、県の任用が決定した場合、なるべく早く学校に赴任できるように

建設経済常任委員会

議案第29号 令和2年度松戸市駐車場事業特別会計補正予算(第1回)

松戸駅西口地下駐車場にキャッシュレス決済を導入するための経費だが、

キャッシュレス決済にかかる手数料等から算出した年間のランニングコストは、約120万円と想定

年度は新型コロナウイルス感染症への対応として、小中学校緊急時教育活動サポート人材バンクを新設した

未配置により担任が不在となった学級数を伺う。未配置となった学級については、教務主任、教頭等が担任として対応した

バイクはキャッシュレス決済の対象になるか。

バイクの利用料金は、駐車券での精算ではなく1日500円となっているため、

原則築年数が古い、または前回の改修から時間が経過している住宅を優先

原簿年数が古い、または前回の改修から時間が経過している住宅を優先

議会運営委員会

委員の変更がありました。

- 正美 剛士 大塚 健児 山本 啓之 飯箸 啓之 宇津野 啓之 末松 裕人

委員長 副委員長 変更があった委員

決算審査特別委員会委員名簿

令和2年9月(42人)

Table with 5 columns: 委員長, 総務財務分科会, 健康福祉分科会, 教育環境分科会, 建設経済分科会. Lists names of committee members.

令和元年度 決算審査特別委員会分科会

各常任委員会を基に構成した分科会で、令和元年度決算の審査を行いました。ここでは主な質疑等を掲載します。

総務財務分科会

総務費

寄附採納事業におけるガバメントクラウドファンディング等の取り組み状況について伺う。

平成28年12月に総務財務常任委員会からクラウドファンディングの活用を

その結果、具体的な取り組みとして令和2年9月15日からガバメントクラウドファンディングによる21世紀の森と広場遊具等施設整備事業に係る寄附募集を開始し、寄附金の使途として

21世紀の森と広場に新たに整備される「あそびのすみか」の大型遊具等の整備費として活用する。

消防費

応急救護普及事業について、コロナ禍の影響により救護に関して変更があった点について伺う。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一般市民による応急手当の方法が、感染防止の観点から、

教育環境分科会

総務費

防犯カメラの設置状況と成果について伺う。

市設置の防犯カメラは、令和元年度に設置した52台を含め281台あり、

市民参加型街頭防犯ネットワークカメラと合わせると562台が稼働している。市設置については、平成30年度より子どもの安全を確保する観点から、

防犯カメラがあることでの体感治安の向上も期待できる。

教育費

国際理解教育推進として目指していることおよび成果について伺う。

本市では、グローバル社会で活躍できる児童生徒の英語学力の向上を目指し授業の改善を行っている。また外国語指導助手、英語インストラクターを派遣し

健康福祉分科会

民生費

八柱と東松戸地区に送迎保育ステーションが新設されたが、状況と課題は。

開設後の状況は、八柱が施設定員25人のうち令和2年8月末時点の登録者数が9人、

八柱が施設定員25人のうち令和2年8月末時点の登録者数が9人、一時預かりの利用者が延べ23人となっている。また東松戸は施設定員25人のうち登録者数が5人、

建設経済分科会

商工費

企業誘致事業における産業用地の活用可能性に関する調査の成果は。

企業の立地に適したまとまった土地がない現状を踏まえ、本市の強みを生かして、

企業の立地に適したまとまった土地がない現状を踏まえ、本市の強みを生かして、雇用と税収を増加させる企業の立地促進に必要な施策を検討するための調査となる。

建設経済分科会

土木費

常磐線快速列車の松戸駅停車にかかる調査で何が得られ、どのように生かしていくか。また市民への情報公開について考えを伺う。

新松戸駅改良について、3D測量を実施し、駅舎や橋脚などの立体的な位置関係が把握できた。測量結果およびこれまでの検討状況を踏まえ、

新松戸駅改良について、3D測量を実施し、駅舎や橋脚などの立体的な位置関係が把握できた。測量結果およびこれまでの検討状況を踏まえ、現在は施設に関する調査を依頼している。市民への公開については今後の審議、検討、協議をおよび事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるため、現状では公開することとは検討していない。

一般質問

9月定例会では、9月3日・4日・7日・8日の4日間にわたり、33人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

一般質問の発言時間短縮・自粛について

今定例会では一般質問の発言時間を通常60分から25分に短縮し、不急の質問は自粛することを議会運営委員会で決定しました。この結果、一般質問の日程を5日間から4日間に短縮しました。

おくやみ窓口の設置について

公明党

岩瀬 麻理

○ おくやみの手続きを相談できる受付窓口やブース設置の考えは。また予約制やご遺族と死亡に伴う手続きチェックシートを作成することについて伺う。

○ 必要性が高まっており、新たなサービスとして一定の需要があると認識している。また各種手続きを行う際のチェックシートの作成や、手続き案内を見やすくリニューアルすること等、庁舎建て替えを待たずできることは引き続き行い、改善を積み重ねながら、市民サービスの向上を図っていききたい。今後、関連部署と連携し、他市の事例を参考に、本市のおくやみ窓口に関する制度設計を検討していく。

化学物質過敏症について

政策実現フォーラム

増田 薫

○ 柔軟剤などの強い香料により、健康被害を受ける方がいることを市は認識しているか。またこの香りの問題を周知する取り組みについて伺う。

○ 化学物質過敏症は、さまざまな化学物質が原因となり体

調不良を起こす疾病であり、柔軟剤や洗剤等も原因物質になるといわれている。一方まだ不明な点も多く、原因物質といわれるものが日常生活と密接なものであることから、除去することは容易ではない。強い香りをはじめとした微量の化学物質でも日常生活に影響を及ぼすことがあり、お困りの方がいることは承知している。市民への周知については今後、研究していきたいと考える。

市の大規模事業について

無所属

山中 啓之

○ 膨大な事業費を投入し本市財政に大きな影響を与えた新市立病院建て替えについて、オープンに至るまでの顛末を報告書にまとめ、市長の公約でもあった財政健全化がどれほど達成されたかを関連付けて説明すべ

きと考えるが見解を伺う。

○ 市立総合医療センター開院については、経緯なども含めホームページに掲載しているが、情報量が多いことに加え、完結には至っていないなど総括としての形態ではないと認識している。今後、事業費を中心に当該建設事業の意義が説明できる一定の資料を取りまとめる方向で検討し市民にお知らせしていく。



臨時休校時の学校運営と学習について

無所属

中西 香澄

○ 今後臨時休校になった場合、学級運営と学習はどのように行っていくのか伺う。

○ 現時点では、オンラインによる双方向のホームルームや授業ができることまで準備を進めており、ICTを活用した

授業スタイルの確立に向け、今後も検証・研究を進めていく。令和2年7月下旬にはクラウドサービスの整備により一方向での連絡は可能となり、学校と家庭との間で学校からの文書等の大容量のファイルの共有を図ることができた。クラウドサービスについては、各学校でどのような使い方ができるのかを探りつつ、児童生徒の実態に応じた研究をしている。



こども館の充実について

公明党

諸角 由美

○ 各地域へのこども館の設置拡充とともに、既存のこども館の常設や相談窓口など環境の充実について考えを伺う。

○ 既存の六実こども館については、他施設との共有による運営の課題を認識しており円滑

な運営に努めていく。また児童館やこども館の未設置地区へは、児童館が出張開催する「移動児童館」により不足を補い、児童館やこども館の周知として、市内公立小学校の全児童へ長期休業期間や放課後の利用可能な居場所および相談窓口を記載した「子どもの居場所ガイド」を配布した。なお設置拡充については、第2期松戸市子ども総合計画のつとめ、増設や運営環境の改善を行い相談機能の充実を図る。

災害時の避難所設置について

松政クラブ

木村 みね子

○ 災害時のホームレスの受け入れについて、衛生管理等リスク回避を図る必要がある。そこでホームレス専用の避難所を設置する考えはあるか伺う。

○ 災害時には、ホームレスの方や感染症の恐れがある方等

さまざまな事情を抱えた方の避難も想定される。ホームレスの方等を受け入れる際には、体調チェックや汚れ、臭いの除去対策を講じ、必要に応じ別室へ案内することとしている。避難所での感染症対策は十分配慮が必要であると認識しており、医療機関との連携を密にし、避難者の健康管理に努めていく。引き続き市民等への啓発とともに、避難者の受け入れ対応と衛生管理の検討を重ねていきたい。

SDGsへの取り組みは

公明党

篠田 哲弥

○ 次期総合計画に、持続可能な開発目標SDGsの精神を反映させ、施策との関連性がわかるよう該当する17の目標のピクトグラムを各項目に配置する考えについて伺う。

○ 経済・社会・環境を統合

的な視点で捉えるSDGsの理念は、コロナ後を見据えたまちづくりの指針ともなり、その理念に沿った施策の展開が持続可能なまちづくりを目指す上で大変重要になると考えている。SDGsの達成が地方創生に資するものであるという基本的な認識のもと、次期総合計画において、計画の柱の一つに据えることも含め、どのような形でSDGsを反映できるか検討していく。

介護支援について

公明党

鈴木 智明

○ 介護現場の不安を解消し、継続した介護サービスを市民に提供するため、新型コロナウイルス感染症に対するマニュアル作成の検討や相談体制の整備、介護施設での実地訓練等の対策が必要と考えるが見解を伺う。

○ 令和2年度第二次補正予算により国が行う「介護施設及び介護事業所における感染症対策向上事業」では、有識者や事業所の代表者が集められ、その取り組みに本市職員も招聘されていることから、マニュアルおよび研修プログラムの作成、研修実施などに意見を反映させるとともに、早急に感染症対策の底上げを図り、継続したサービスの提供ができるよう取り組んでいく。

放置自転車対策について

政策実現フォーラム

成島 良太

○ 自転車撤去の際に、1秒でも自転車から離れば撤去の対象になるとのことだが、高齢者、障がい者、子ども等社会的弱者への配慮は行っているのか伺う。

○ 放置自転車は、目の不自

由な方、車いすや高齢の方、介護が必要な方などを含め、大変危険な障害物となり、歩行者や車両の安全な通行を妨げることになっていく。また災害時の消火・救急活動の支障となることから、道路などの安全な通行環境を保全するため、撤去する自転車等を放置時間の長短で区別するのではなく、放置禁止区域に放置されている自転車等は同時に撤去する必要があると考えている。

職場におけるハラスメントの防止について

無所属

岡本 優子

○ 本市は職場におけるハラスメントの防止に関する要綱を策定し、就業環境が害されることのないよう必要な体制を整備したが、アンガーマネジメントを含む研修カリキュラムの見直しについての考えを伺う。

○ ハラスメントに係る研修は、時代に求められる職員を育成するため毎年見直しを図っている。アンガーマネジメントは、怒り等の強い気持ちを適切にコントロールし問題解決を図るスキルであり、ハラスメント抑止に有効であるものと認識している。今後も、職員が互いに人権を尊重しハラスメント防止意識の醸成と働きやすい職場環境の構築や、これまで以上に効果的な研修の企画運営に努める。

地域共生社会の実現に向けて

公明党

織原 正幸

○ 令和3年4月の社会福祉法等の一括改正法施行に伴い、重層的支援体制整備事業が開始可能となる。包括的支援体制の構築を積極的に行うべきと考え、本市の取り組みの方向性について伺う。

○ 法改正および重層的支援体制整備事業は、分野横断的な相談支援体制がより柔軟に整備でき、事業費も分野縦割りではなく一体的に執行できるため、本事業の活用が地域共生の取り組みをさらに加速させる契機と考える。新事業は市町村の手挙げ方式で相談支援等が必須事業となり、国の予算措置は2年12月に示される。できるだけ早い段階で移行できるように、厚生労働省の動向を注視し検討していく。

環境対策について

公明党

城所 正美

○ 海洋プラスチックごみは、日本だけではなく世界全体で大きな問題である。環境問題を解決するには一地方自治体ではどうすることもできない壁があることから、環境省のプラスチック・スマートキャンペーンに参

加し、3R等の取り組みを推進し広く国内外に発信できないか。○ 本市が取り組む「ごみツアー」「環境学習」「ポイ捨てウォッチング」「江戸川クリーン大作戦」「クリーンデー」の5つの事業が、プラスチック・スマートキャンペーンの取り組みカテゴリーである「減らす」「教える」「拾う」等に該当することから、これらを同キャンペーンのホームページに登録し、広く発信していく。

消防への緊急通報について

公明党

松尾 尚

○ 全国各地で検討され始めている119番通報の際に、音声と映像を用いたシステムを導入する考えについて伺う。

○ このシステムは、119番通報者のスマートフォンを活用し、映像を使用したコミュニ

ケーションができるほか、映像情報を共有することで、より効果的な活動につながるシステムである。本市では、令和3年2月より運用を開始する「ちば北西部消防指令センター」の整備にあたり、多様化する119番通報に対し、さらなる緊急通報受信体制の強化に努めるとともに、このシステム導入に関して、その有効性を検証しつつ、構成10市で検討をすすめていきたいと考えている。

コロナ禍対応について

公明党

高橋 伸之

○ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、マスクを着用し外出するという習慣が浸透してきたが、やむを得ない事情でマスクを着用できない人がいることへの理解を進めていくべきと思うが、市の見解を伺う。

○ 本市ではホームページ等の媒体を活用し新型コロナウイルス感染症の情報と併せ、マスクを着用できない方に対し理解を求める内容も発信している。今後はより一層の理解促進のため、関係部署と連携しグッズの作製等も検討していく。いずれにしても社会全体の理解を得ることが重要であると認識しており、積極的な啓発・周知等に取り組んでいく。



稔台の歩道改修について

松政クラブ

箕輪 信矢

○ みのり台駅前の県道交差点から和名ヶ谷方面に向かう道路の歩道について、補修計画と地域への周知について伺う。

○ 当該道路は、一般県道松戸鎌ヶ谷線を横断し稔台の商店街を通る主要幹線2級市道であ

り、歩道の現状から鑑み、歩道整備事業の優先箇所として、令和2年度より側溝ふたの掛け替えや歩道の舗装打ち替え等の改修を計画的に実施する。整備区間は稔台交番から約200mの予定で延長も相当あり、おおむね4カ年での整備完了を目指す。また地域への周知として、地元町会、商店会、沿線住民へ整備の必要性について十分かつ丁寧に説明していく。



高齢者施設等のオンライン面会について

公明党

飯箸 公明

○ 国では高齢者施設の新型コロナウイルス感染症対策強化のため、オンライン面会の導入支援に取り組んでいるが、市内施設に普及していく考えは。

○ 本市では、国からの通知を受け、家族との面会手段とし

て施設等に周知し、一部の施設で電話による会話やオンライン面会等を実施したとの報告を受けている。また各施設の工夫により、感染防止を図りつつ、家族とのコミュニケーションの機会を確保している。介護分野に関するICTの導入拡大は、次期計画における重要な要素になると認識しており、オンライン面会の普及という観点も含め、介護施設のICT環境整備の支援について検討していきたい。

学校トイレの洋式化について

政策実現フォーラム

関根 ジロー

○ 学校トイレの洋式化において、多目的トイレおよびウォシュレットの導入について伺う。

○ 多目的トイレは、各学校に1カ所は設置することを目指し、令和3年度から3カ年で予定している51系統の校舎内トイ

レの洋式化工事の中で設置を計画している。当整備は既存トイレをベースに改修工事として実施することから、必ずしも十分なスペースが確保されるとは限らない。その場合は、バリアフリー・車いす対応のみになるケースや、予定している51系統とは別の系統での実施も検討していきたい。ウォシュレットは、現改修計画には含まれていないが、多目的トイレとして整備する箇所には今後検討していく。

ごみについて

政策実現フォーラム

戸張 友子

ごみに関する電話の問い合わせは1日200件以上と聞いている。令和4年2月に予定されている分別区分と収集体制の一部変更がされると今まで以上に問い合わせが増えると思われるが、不法投棄の通報および

ごみに関する問い合わせを電話料金無料で対応できないか伺う。

ごみの分別区分と収集体制の一部変更に対する多数の問い合わせに対応するため、2年10月1日よりIP電話など一部の電話は除くが、外部委託による通話料無料の「家庭ごみ相談コールセンター」を設置する予定である。主な業務は「ごみの分別方法の案内」「ごみの取り残しに対する問い合わせ」「不法投棄」の対応等である。

交通政策について

日本共産党

山口 正子

コミュニティバス導入の手引きにおいて、地域組織については、導入予定ルート沿線の全ての地域を網羅する必要があるか。また予定ルート沿線の町会・自治会への働きかけに本市がどのように関わっていく

のか見解を伺う。

コミュニティバス導入の手引きにおける地域組織の要件については、地域の代表として継続的に活動できること、地域住民が5人以上含まれていること、近隣の町会・自治会と連携できることなどを設定している。また地域組織と検討ルート沿線の町会・自治会との調整時に沿線の町会・自治会との調整時に沿線の状況に応じて判断すべきものと認識している。

北千葉道路について

松政クラブ

大塚 健児

千葉県全体で北千葉道路早期開通に向けた機運が高まっているが、その進捗状況を伺う。

現在、東京外かく環状道路から国道16号までの約15kmについて、県が都市計画および環境アセスメントの手続きを進めている。また令和2年8月28日には、県、沿線の市や商工団体が参加し「一般国道464号北千葉道路建設促進大会」が開催され、県から3年度の新規事業化に向けて積極的に取り組むことや北千葉道路全線の官民が一体となった支援団体を新たに組織する予定であることが表明され、今後、国への要望活動も行うこととしている。本市も沿線の市や市議会と一丸となり国や県に早期開通を働きかけていく。

新型コロナウイルス感染症の抗原検査について

政策実現フォーラム

DELLI

高齢者および高齢者の入居・入所する施設の職員への抗原検査について、助成額の設定、助成の回数、検査対象者の範囲を見直す考えはあるか。

市内の感染拡大を未然に防止するために、市独自の新たな取り組みとして実施している。しかし市内の感染状況や検査手法など日々変動している状況のため、当初設計した要件の見直しの必要性は認識している。引き続き国・千葉県からの情報収集に努め、地域の協力医療機関の状況、受検者数の実績、市民の方からの意見等を参考に、市独自の検査体制を提供できるよう制度設計の見直しを検討していく。

東部地区の課題について

松政クラブ

鈴木 大介

都市計画道路3・3・7号河原塚紙敷区間の整備の進捗と、河原塚町内のゾーン30を含めた生活道路の安全対策について伺う。

整備の進捗は、平成30年度より道路用地の取得を開始し、現在までに用地買収27件、物件等補償28件の契約を締結した。進捗率は面積ベースで約25%となる。安全対策については、地域から要望を受け、注意喚起の路面標示等を実施してきた。ゾーン30の指定は、交通管理者である警察の判断により順次実施されるが、当該地域については、規制実施を求める地元の声が大きいため、松戸警察署に対しさらに強く早期の規制実施を働きかけていきたい。

火葬時の手続きについて

松政クラブ

大谷 茂範

火葬の予約が完了するまでに1回の電話と2回のFAXのやり取りがあるが、ヒューマンエラーを防ぐ対策と課題は。また他市のように火葬予約システムを導入する考えは。

火葬の予約が完了するまでに1回の電話と2回のFAXのやり取りがあるが、ヒューマンエラーを防ぐ対策と課題は。また他市のように火葬予約システムを導入する考えは。予約のシステム化はヒューマンエラーの防止や利便性向上等の観点から有効であり、必要性を認識している。一方でシステム構築や体制整備において課題もあることから、まずは現在の運用で起こりうるヒューマンエラーを防ぐため聞き取り内容の復唱、申請書類等の複数職員による確認の徹底および受付マニュアルの適宜見直しを行うしていく。システム化については先進市の事例を調査研究しつつ、導入に向け検討していく。

庁舎建て替えについて

松政クラブ

小沢 曉民

現庁舎建て替えの現状認識は。また不確定要素のない現地建て替えの方がより早期に竣工可能と考えるが本市の見解は。

現庁舎は施設そのものや基幹設備の老朽化や耐震性の不足により、市民の方や職員等の生命を脅かすだけでなく災害対応拠点の機能が果たせない状況であり、一刻も早い建て替えが必要と考える。また移転候補地は国有地であることから、財務省と覚書を交換し検討を積み重ねている。一方で現地建て替えとなると、建物の取り壊しと建築を交互に進める段階整備により工事期間が長期間となること等が予想される。これらを総合的に勘案し移転建て替えが最適であると判断した。

市立総合医療センターについて

松政クラブ

大橋 博

新型コロナウイルス感染症に対応する全ての医療従事者に感謝する一方で、市立総合医療センターにおいて感染者の増加に伴う経営面の先行きとして新型コロナウイルス感染症以外の医療への影響を伺う。

市立総合医療センターでは新型コロナウイルス感染者への対応のため通常医療を制限した他、市内外の診療所等から紹介患者が大幅に減少したため医療収益も減少し経営が圧迫されている。緊急事態宣言の解除以降、外来患者や入院患者が増加傾向だが、新型コロナウイルス感染症の収束には時間を要すると見込んでおり、感染症対策に万全の備えをし、急性期総合病院としての役割を果たしていく。

副教材について

松政クラブ

桜井 秀三

副教材は学校関係者にしか公開しておらず、一般の市民に公開しないことは、国民の知る権利である憲法に違反していると考えられるが見解を伺う。

副教材は学校関係者にしか公開しておらず、一般の市民に公開しないことは、国民の知る権利である憲法に違反していると考えられるが見解を伺う。授業の補助教材として使われている副教材は、公的機関である小中学校への図書教材類の適切な供給が達成・維持されることを目的として設立されている団体があり、各教材出版社はその団体に加盟している。副教材の展示や学校以外への販売は、その団体の判断をもとに行われているため、市教育委員会として見解を示すことができない。



新型コロナウイルス感染症対策について

政策実現フォーラム

原 裕二

◎ 東京都世田谷区のようにより戦略的に市主導で検査拡充を図るべきと考えるが、検査拡充の具体策とその課題を伺う。

◎ 主な課題は検査を実施できる医療機関の確保である。検査の実施には院内感染防止のた

め、通常の患者とは可能な限り動線を分けることとされるが、医療機関の負担が大きく検査件数等の大幅な拡充は難しい。具体策について、松戸市医師会にて松戸市PCR検査センターでの検査の実施日数を増やす等、検体採取の増加に向け検討いただいている。また市独自策として、介護施設内で陽性者が発生した場合、保健所による行政検査の対象とならない無症状者に対しPCR検査を行っている。

委託事業等について

日本共産党

宇津野 史行

◎ 公共事業において、委託費等に積算された人件費がきちんと労働者に渡っているのか確認すべきと考えるが、方法はいいのか見解を伺う。

◎ 業務委託は清掃業務等その種類は多岐にわたり、業務内

容、雇用形態、賃金等の労働条件も多種多様で、人件費の積算方法も案件ごとに異なる。人件費の支払い状況を確認する場合は、適用する委託業務や労働者の範囲をどう設定するか、また労働者に支払われた人件費を賃金報告書等に基づき確認することから、事業者・市双方の事務負担が増える等課題も多いと認識している。今後こうした課題を整理するとともに、近隣市の状況等も調査研究していく。

水害対策について

松政クラブ

杉山 由祥

◎ 宅地建物取引業法が改正され、不動産取引時の重要事項説明に水害リスクの説明義務が課された。そこで水害リスクの説明とともに、行政としての水害対策を説明する必要があると考えるが、本市の見解を伺う。

◎ 水害対策の説明資料として水害ハザードマップを作成しているが、水防法の一部改正に伴い想定し得る最大規模の降雨を前提とした浸水想定区域を設定することになった。今後速やかに、台風や風水害に対して平時からの備えや避難所等の情報を啓発する冊子の改定も検討していく。また水害ハザードマップの完成とともに災害時に迅速・円滑な避難ができるよう内容を周知していく。

保育政策における3歳児の問題について

日本共産党

平田 きよみ

◎ 本市では待機児童解消のため、0〜2歳児対象の小規模保育所を設置し対応しており、令和2年度も25カ所の増設予定だが、今後の3歳以上児の対策について伺う。

◎ 本市における1〜2歳児

の保育需要は依然として高く、今後も小規模保育施設の整備が必要であると考えている。また3歳以上児の受け入れ先として、認可保育園や幼稚園の長時間預かり保育を拡充し、その受け入れ状況により必要に応じて民間保育園を整備している。なお3年度に向け、新設の民間保育園を2施設整備する予定が1カ所のみ整備となるため、公立保育所において3歳児の受け入れを増やし対応していく。

松戸市新庁舎整備基本計画の公表について

日本共産党

ミール 計恵

◎ 策定中である松戸市新庁舎整備基本計画について、公開される情報がほとんどなく、議会や市民への説明、市民参加が保障されていないと感じている。そこで、松戸市新庁舎整備基本計画の公表は、いつどのように

行われるのか伺う。◎ 現在、新庁舎の基本的な考え方を取りまとめられており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、議論の場以上に載せ、市民の皆さまの意見を聴くとともに、市議会との合意形成を図っていきたく考えている。



新しい生活様式を踏まえたつながりづくりについて

市民クラブ

岩堀 研嗣

◎ コロナ禍の町会・自治会、市民活動団体等の現状と行政を含めた連携について、本来どのような支援が必要と考えるか。

◎ 緊急事態宣言時は人との接触を伴う行動が制限され、連携した活動が停滞したが、これ

以上停滞させないよう支援したい。まずオンライン化支援によりコミュニケーション不足等の解消を図る。またまつど市民活動サポートセンターは、中間支援を担う機関として、市も含めた相互連携のコーディネートを行う。さらに市は感染防止対策で活動場所が制限された活動団体が、町会・自治会集会所等を利用できるように、空き情報を市ホームページ等で公開する活動拠点マッチング事業を開始する。

市立総合医療センターの経営について

松政クラブ

鷹野 聡

◎ 市立総合医療センターの次期経営計画について伺う。

◎ 令和2年度中の策定に向け準備を進めているが、現時点で総務省から新たなガイドラインが示されていない状況である。また新型コロナウイルス感染症

がまだまだ収束せず、全国の自治体病院が感染拡大防止に最優先で取り組む中、次期経営計画の策定は非常に困難であるとの意見が頻出している。コロナ禍の状況に鑑み、暫定的な措置として現行の第2次経営計画を一部見直し、年間延長した上で策定を一年先送りすることも検討している。経営形態については、2年度までの経営実績を見て最終結論が導き出されると認識している。

会派別一覧

会派構成に変更がありました。松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

松政クラブ 12人
◎ 木村みね子
○ 大谷 茂範
○ 鷹野 聡
○ 中村 典子
○ 大塚 健児
○ 大橋 博
○ 鈴木 大介
○ 石井 勇
○ 杉山 由祥
○ 桜井 秀三
○ 田居 照康
○ 小沢 暁民

公明党 10人
◎ 城所 正美
○ 諸角 由美
○ 篠田 哲弥
○ 鈴木 智明
○ 松尾 尚
○ 岩瀬 麻理
○ 高橋 伸之
○ 伊東 英一
○ 飯箸 公明
○ 織原 正幸

市民クラブ 7人
◎ 末松 裕人
○ 市川 恵一
○ 渋谷 剛士
○ 岩堀 研嗣
○ 山口 栄作
○ 深山 能一
○ 中川 英孝

日本共産党 4人
◎ 宇津野史行
○ 平田きよみ
○ ミール計恵
○ 山口 正子

政策実現フォーラム 7人
◎ D E L I
○ 増田 薫
○ 成島 良太
○ 戸張 友子
○ 関根ジロー
○ 原 裕二
○ 二階堂 剛

市民力・立憲民主党 ※ 3人
◎ 山中 啓之 ※
○ 岡本 優子 ※
○ 中西 香澄 ※

無所属
○ 箕輪 信矢 ※

◎ 幹事長
○ 副幹事長
※ 新たな会派・変更があった議員
議員定数 44人

(令和2年10月1日現在)

決算討論

令和元年度決算について、8人の議員が定例会最終日に討論を行いました。ここでは、会派の討論を紹介します。割り当てられた討論時間に応じた紙面配分で掲載しています。

松政クラブ

令和元年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

一般会計については、基礎的財政収支、いわゆるプライマリーバランスの黒字化を要望し、不用額、不用率の観点から審査を行った。総務費では、不用率が平均より高いため予算編成に当たっては、しっかりと精査するよう期待する。

民生費と衛生費では、不用率は低い、市民生活に不可欠な行政サービスを提供するため必要な予算であり、一般会計歳出予算の62%を占めている。より一層の精査を期待する。

土木費では、不用率が平均より高いが、千葉県や近隣自治体による地元負担金を除けば、平均を下回るため納得できるものである。教育費では、不用額、不用率ともに増加しているため削減するよう一層の精査を要望する。

特別会計については、大きな問題はないと判断する。企業会計については、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書を中心に、経営の観点から審査に臨んだ。

病院事業のうち、市立総合医療センターでは、医療で自己資本の5倍以上の債務があり、増資しても、そのキャッシュは投資ではなく借金の返済に消えるため、資金調達なしでは事業を継

公明党

令和元年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

一般会計の歳入について、交付金・負担金を確実に獲得し、財政調整基金の適正な運用や地方債の計画的かつ慎重な起債を求めます。

歳出については、人件費では、退職者の増加に対応した会計年度任用職員等の適切な人員配置を求める。

扶助費では、依然として増加傾向で類似団体の平均より高いため、事業の重点化・効率化の推進を求める。公債費では、将来負担増のない財政運営を求める。

なお経常的経費が増加しており、不断の事務事業見直しを行い、コロナ禍による極めて厳しい雇用・経済状況に注視した的確な行政サービスの実現を求める。

また賛成理由として、1点目は子育て支援策の推進である。幼児教育・保育の無償化で外部環境が変化する中、5年連続で国基準の待機児童ゼロを達成し大いに評価する。2点目はにぎ

市民クラブ

令和元年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

決算の成果やその評価は、松戸市総合計画、後期基本計画および第6次実施計画と大きな相違があつてはならない。また新型コロナウイルス感染症の諸問題や少子高齢化による人口減少社会の到来など、市民ニーズへの対応はどうかと

の観点から審査に臨んだ。総務費では、いじめ調査委員会においては、教育委員会との連携を強め、いじめ問題自体を無くすための委員会であるべきと考える。

民生費では、思いやりベッチ設置補助金について、過去に設置した経緯もある。今後も継続協議を行い設置準備を進めるよう要望する。

教育費では、家庭教育力向上事業について現状評価の確認をした。今後もあら

政策実現フォーラム

令和元年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

本市では市庁舎の建て替え、学校施設の長寿命化と公共施設再編整備、新松戸駅東側地区土地区画整理事業など、多額の予算を要する複数の大型事業が進められようとしている。その多くは市民のためになるもの

と考えるが、将来にわたり責任ある財政運営をしていくという観点から、今やるべき事業なのか判断する必要がある。全ての大型事業を行えば、市が自ら示した借金限界値の目安を突破することは確実となる。もちろん、絶対に外せない「マスト」の事業はやはり行わなければならない。重要なものは長期的視野と多角的視野を持ちつつ、事業の必要性の是非を検討することである。その上で、大型事業の市負担費を一刻も早く明らかにし、本市の財政と

りわけ市債残高と照らし合わせ、その実現性や将来負担等を議論し、場合によっては事業規模の見直しや事業を凍結するなどの決断が必要である。これまでも各大型事業の優先順位については改めて議会と議論すべきと指摘しているが再度強く求める。

日本共産党

令和元年度一般会計、国民健康保険、競輪、介護保険、後期高齢者医療特別会計に反対し、他会計の決算に賛成する。

私たちの暮らしや命を守るためには、新自由主義から転換して個人を大事にする施策が求められているという視点で審査に臨んだ。

一般会計の民生費では、介護人材の育成も確保も計画を下回った。市独自の家賃補助や処遇改善への取り組みがなされていない。また小規模保育施設が激増しているが、子どもの利益と成長発達を第一に考え、0〜5歳まで連続した保育が必要と強く主張する。

土木費では、新拠点ゾーンや各土地区画整理事業に共通して市は、情報はできるだけ公開せず、市民や議会への説明責任を果たさず、合意形成も不十分である。

民主主義の大前提を無視したやり方は遺憾であり、直ちに改めるよう求める。歳入では、プレミアム付商品券事業は、消費税増税の批判をかわすことを目的とした失策と指摘する。

12月定例会の開催予定

令和2年松戸市議会12月定例会は、12月4日(金)から12月21日(月)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。

請願・陳情は、11月25日(水)正午が提出期限です。

日程	主な内容
12月4日(金)	招集日・本会議(議案提案理由説明)
7日(月)	本会議(一般質問)
8日(火)	〃(一般質問)
9日(水)	〃(一般質問)
10日(木)	〃(一般質問・議案質疑)
14日(月)	総務財務常任委員会
15日(火)	健康福祉常任委員会
16日(水)	教育環境常任委員会
17日(木)	建設経済常任委員会
21日(月)	本会議(議案等の採決)

※このほか随時、委員会が開催される場合や開催予定が変更となる場合もありますので、お問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

議会傍聴について

定例会の傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

編集の窓

この夏は、さまざまなイベントが延期・中止となり、例年とは趣の違う生活を送られたのではないだろうか。本定例会では、議案として上程された新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算が可決されました。多岐にわたるさまざまな対策が講じられます。随時ホームページが更新されておりますので確認していただきたいと存じます。いまだに予断を許さない状況下、これから寒くなるとインフルエンザも流行してまいります。皆さまにおかれましては、健康管理、感染拡大防止に努めていただきますようお願いいたします。

広報委員会
委員長
副委員長
委員

- 大塚 健児
- 松尾 尚
- ミール計恵
- 鷹野 聡
- 中村 典子
- 岡本 優子※
- 増田 薫
- 篠田 哲弥
- 大谷 茂範
- 原 裕二
- 伊東 英一
- 渋谷 剛士
- 市川 恵一

※変更があった委員

次回発行予定は2月1日(月)です